

第54回通常総会・平成22年新年名刺交換会



第54回通常総会

[第54回通常総会]

- 1 開催日時 平成22年1月19日（火）15時30分～16時15分
- 2 開催場所 生田神社会館 3階 菊
- 3 出席会員 129社（委任状提出 58社を含む。）
- 4 結果

(1) 会長挨拶（要旨）

悲しい話ですが、工事着工延期の話が出ており、当協会でも7～8社から聞いています。年末にも「工事延期になったが、既に支払をしている。何かいい方法がないだろうか。」という話がありましたが、「現実仕事を続けていく限り、施主と直接話をするというのは普通でないですよ。」とお話をした経緯もございます。それほど、大変な不景気で、努力や頑張りのレベルからはずれているようで、建設業は深刻で、今後の不透明です。

大手会員が抜けた後、解散か再生かという事態に陥りましたが、皆さんのお力により何とか持ちこたえています。また、去年は新入会員が20数社増えました。私は170社になれば会費の値上げもせず乗り越えられると考えています。今年の課題として20会員の増に向けてご協力をお願いします。

県当局の配慮もいただいております、また県に対しても予算増額をお願いもしていますが、財政難で切羽詰った状況と思われます。

また、建設業の複業化という話も出ており、お繋ぎしていますが、参考になる話もあるのでお聞き願いたいと考えています。このように県もいろいろ考えていただいております、県に対して要望の機会を持ちたいと申し上げておりましたら、形式張らずに話し合いをしようやないかという考えも聞いているところです。

今後、皆様方にもいろいろお伝えし、我々の企業が前進発展しますのと、この不況を何が何でも乗り切っていただくようご努力並びに頑張ってくださいと思っています。

本日の総会では平成22年度事業計画等についてよろしくご協議賜りますとともに、会員店社のご繁栄を心よりご祈念申し上げ、挨拶といたします。

(2) 議長選出

藤井宏明会長を議長に選出

(3) 議事録署名人選出

サン電設工業(株)池田重男氏及び東洋電気工事(株)合田吉伸氏を選出

(4) 議事

第1号議案 平成21年度収支補正予算に関する件、第2号議案 平成22年度事業計画に関する件
及び第3号議案 平成22年度収支予算に関する件
いずれも、拍手多数で可決承認

[平成21年度永年勤続優良従業員表彰]

総会終了後、同会場において、昨年度から新設された永年勤続優良従業員表彰の授賞式が行われました。会員企業から推薦のあった、永年にわたり勤務され、勤務成績良好で他の模範となる次の9名に対し、藤井会長が表彰状及び記念品を授与しました。

荒井昭臣(尼崎電機㈱)、岡野裕義(サン電設工業㈱)、飯野正志(庄野電気工事㈱)、伊地智渉(白菱電気設備㈱)、井口敬三(西部電工㈱)、馬場六信(ダイトウ電気工事㈱)、佐藤満(藤井電機㈱)、大塚和弘(ミナト電気工事㈱)、橋本治(㈱明和工務店甲南営業所)



表彰式

[省エネ・新エネ機器の普及促進等に関する協定締結]

午後5時から同会館4階富士において、兵庫県知事 井戸敏三氏、同副知事 五百蔵俊彦氏をはじめ兵庫県・神戸市幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、平成22年新年名刺交換会が開催されました。

開会に先立ち、まず、生田神社の巫女によるお神楽・豊栄の舞を奉納し、参会者の繁栄を祈念した後、「省エネ・新エネ機器の普及促進等に関する協定」の締結式を行いました。

省エネ・新エネ機器の普及が、民生部門における温室効果ガスの削減に非常に効果があることから、兵庫県と当協会は、「省エネ・新エネ機器の普及促進等に関する協定」を締結し、県の温室効果ガス削減目標の達成に、連携して取り組むことになりました。

本協定に基づき、当協会は、省エネ・新エネ機器の普及促進に努めるとともに、会員および顧客に対して、地球温暖化防止に関する適正な情報を提供していきます。また県には、資材・情報の提供や、広報を行うことにより、当協会の取り組みをサポートしていただくことになります。



お神楽・豊栄の舞



署名を終えて協定書を披露する会長と井戸知事

[平成22年新年名刺交換会]

藤井会長の挨拶、井戸知事及び原亮介顧問(兵庫県議会議員)の祝辞、来賓紹介、賛助会員の紹介に続き高田巖顧問(元神戸市議会議員)の発声による乾杯で、和やかな懇親パーティーに入り、出席者の交流を図りました。



藤井会長挨拶



井戸知事祝辞

井戸知事挨拶要旨

今の政権に留意していただきたいのは、デフレ対策です。2つありまして、1つはデフレギャップで供給に対して需要が下回っているのを、これを埋めていただくことが必要です。子供手当や高校授業料無償化はGDPの構成要素の消費指数増加に繋がるから1つの対策であるとおっしゃるが遅効性のもので、即効性のもが必要です。もう1つは物価対策で、物価が安ければいいという状況が続きますと職場も失い、産業・企業も経営困難に陥り、また厳しさゆえに安値が続く、このようなことが循環することになりかねませんので、どこかで反転させる、そういう意味での対応が必要です。例えば、アメリカの国債を買うことはアメリカに日本の金が行き、日本の購買力を奪っていることになりかねない訳で、買わなければならないのなら国債を担保に日銀が金を出すとかの対策を講じる必要があるのではないかと考えています。

政府予算では、公共事業は18%削減、地方財政計画でも15%削減です。ただ一方で地域経済対策や雇用対策を含め1兆円の交付税の事業積み増しが行われています。地方から地域おこし、地域振興をやってくれというメッセージであると思いますので、厳しい財政状況の中でできるだけ地方からの地域振興施策、工夫をしていきたいと考えています。

先程、新エネルギーの活用、省エネ協定を結ばせていただきましたが、電業協会の皆様が携わっている電気工事や電気に係わる分野はある意味で工夫の余地がいっぱいある分野であろうかと思っています。例えば、省エネ機器にトランスを高精度化するだけで随分エネルギー使用量が違うと承知しています。今日のNHKニュースで京都のNPO法人が中小企業を回って省エネ指導をされている場面が出ていました。皆様もそのような活動も併せて展開していただければ、省エネ・新エネの活用に繋がっていくのではないかと思います。ちょっと投資が嵩む、しかし5年、10年で取り返せるのに繋がるのではないかと考えていますので、ご協力をお願いします。



原顧問祝辞



乾杯・懇談

主な行政関係出席者(敬称略)

井戸敏三(兵庫県知事)、五百蔵俊彦(兵庫県副知事)、原亮介(兵庫県議会議員・協会顧問)、高田巖(元神戸市議会議員・協会顧問)、鈴木篤(県理事)、青山善敬(県環境担当部長)、本井敏雄(県まちづくり担当部長)、富岡寛美(県環境管理局长)、川端宏幸(県住宅建築局长)、網谷喜明(県企業庁地域整備局长)、岩佐秀人(神戸市都市計画総局参事)、小松原正俊(兵庫労働局労働基準部長)、鷲尾英己(兵庫県住宅供給公社常務理事)